

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年6月1日

計画の名称	地域の暮らしを守る公共下水道長寿命化計画																
計画の期間	平成24年度～平成26年度（3年間）	交付対象	大潟村														
計画の目標	老朽化した下水管渠の長寿命化を図り、地域の暮らしを守る。																
計画の成果目標(定量的指標)																	
管渠の長寿命化計画に基づく改築実施率を0%から20%に増加させる。																	
<table border="1"> <tr> <td>定量的指標の定義及び算定式</td> <td colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</td> <td rowspan="3">備考</td> </tr> <tr> <td>①管渠の長寿命化計画に基づく改築実施率 管渠改築実施延長（m）/管渠改築を実施すべき延長（m）</td> <td>当初現況値 (H24当初)</td> <td>中間目標値 (H25末)</td> <td>最終目標値 (H26末)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>20</td> </tr> </table>					定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考	①管渠の長寿命化計画に基づく改築実施率 管渠改築実施延長（m）/管渠改築を実施すべき延長（m）	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H26末)		0	0	20
定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考													
①管渠の長寿命化計画に基づく改築実施率 管渠改築実施延長（m）/管渠改築を実施すべき延長（m）	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H26末)														
	0	0	20														
全体事業費	合計 (A + B + C)	103百万円 35.03百万円	A	103百万円 35.03百万円	B		C		効果促進事業費の割合	0.0%							

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期 計画期間終了後（平成28年6月）
大潟村産業建設課により事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を実施。	公表の方法 大潟村のホームページにて掲載する。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業				事業実施期間(年度)											全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)								
									H22	H23	H24	H25	H26				
A1- 9	下水道	一般	大潟村	直接	大潟村	管渠の長寿命化計画策定	310.3ha	大潟村							26.00 30.55		
A1- 10	下水道	一般	大潟村	直接	大潟村	管渠の設計及び改築・更新	L=1,337m L=0m	大潟村							75.00 4.48		
A1- 11	下水道	一般	大潟村	直接	大潟村	長寿命化計画に基づく施設計画の見直し		大潟村							2.00 0.00		
合計														103.00 35.03			

B 関連社会資本整備事業				事業実施期間(年度)							全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業種別	地域種別	交付対象	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H22	H23	H24	H25	H26

番号	一体化的に実施することにより期待される効果	備考
		合計

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 管渠の耐震、液状化対策を図る長寿命化計画は策定したものの施工は平成27年度から着手することとした為、最終実績値は0%である。 																				
II 定量的指標の達成状況		<table border="1"> <tr> <td>最終目標値</td> <td>20.0%</td> <td>目標値と実績値 に差が出た要因</td> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> 管渠の改築工事について、当初平成26年度に着手し、平成30年度に完成することとしていたが財政上の理由等から平成27年度に着手し、平成31年度に完成することと変更した。 </td></tr> <tr> <td>最終実績値</td> <td>0.0%</td> <td></td> <td colspan="2"></td></tr> <tr> <td></td> <td>最終目標値</td> <td>目標値と実績値 に差が出た要因</td> <td colspan="2"></td></tr> <tr> <td></td> <td>最終実績値</td> <td></td> <td colspan="2" rowspan="2"></td></tr> </table>	最終目標値	20.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> 管渠の改築工事について、当初平成26年度に着手し、平成30年度に完成することとしていたが財政上の理由等から平成27年度に着手し、平成31年度に完成することと変更した。 		最終実績値	0.0%					最終目標値	目標値と実績値 に差が出た要因				最終実績値			
最終目標値	20.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> 管渠の改築工事について、当初平成26年度に着手し、平成30年度に完成することとしていたが財政上の理由等から平成27年度に着手し、平成31年度に完成することと変更した。 																			
最終実績値	0.0%																					
	最終目標値	目標値と実績値 に差が出た要因																				
	最終実績値																					
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 管渠の耐震、液状化対策を図る長寿命化計画を策定した。 管渠改築工事第1期分の詳細設計を作成した。 																				